

問1 てこを使って重い物を持ち上げるとき、てこを支える位置のことを何といいますか。

問2 てこの仕組みを使って重いものを持ち上げるとき、力を加えるものはどれですか。

問3 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのように表されますか。

問4 てこを使って重いものを持ち上げるとき、手でてこを押し下げたり引き上げたりして、力を加える位置のことを何といいますか。

問5 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのような計算で求めることができますか。

問6 支点と力点の間に作用点があるてこの仕組みを使った道具はどれですか。

問7 はさみやくぎぬきなどの道具で、作用点と力点の間にある点はどれですか。

問8 はさみで紙を切るとき、2つの刃が交わっていて、はさみ全体を支える位置にあたる部分を何といいますか。

問9 てこがつり合うとき、左側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値と、右側のおもりの重さと支点からのきよりをかけた値が等しくなるというきまりを何といいますか。

問10 てこを使って重いものを小さな力で持ち上げるとき、作用点と支点の間隔はどのようにすればよいですか。

問11 てこを使って重いものを持ち上げるとき、そのものに力がはたらいている「作用点」では、どのようなことが起こっていますか。

問12 1点でささえた棒に力を加えて、重いものを持ち上げることができる仕組みを何といいますか。

問13 理科の実験などで、手で押し下したり引いたりする「力」を目に見える形で表したいとき、どのようなものにおきかえて表すことができますか。

問14 力点と支点の位置を変えずに、作用点を支点に近づけて重いものを持ち上げるとき、手ごたえと必要な力はどうなりますか。

問15 てこの仕組みを使った道具のうち、力を加える部分（力点）が、支える部分（支点）と仕事をする部分（作用点）の間にある道具を何と呼びますか。

問16 つり合っているてこでは、左右のうでの「てこをかたむけるはたらき」はどうなっていますか。